



2009年 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン

Formula NIPPON

第2戦 鈴鹿サーキット

鈴鹿サーキット 国際レーシングコース 1周 5.807km

予選 5/16 SAT. ・ 決勝 17 SUN.

新生鈴鹿で新生フォーミュラ・ニッポン初開催！

異次元のハイスピードバトルが始まる



第1コーナーから見た新ピットビル(左)と新グランドスタンド(右)。

いよいよ新しい鈴鹿サーキットがオープンした。昨年9月から始まった大改修工事が完了。3階建てのピットビル、センターハウスが新築され、観客席も新たに巨大な屋根の付いたグランドスタンドが完成。観戦のための環境、快適性が大きく向上すると同時に、国際レーシングコースもランオフエリアが整備され、東コースは路面も新しく舗装された。これによって大きなラップタイムの向上が予想されているほどだ。

そうでなくても今年のフォーミュラ・ニッポンは、違うカテゴリと錯覚しそうなほど大きな変貌を遂げた。マシン、エンジンとも一新され、さらにF1に近づいたのだ。トヨタ、ホンダの2社が供給するエンジンは、それまでのV型8気筒、3000ccから、同じV型8気筒ながら排気量は3400ccにアップされ、パワーは600馬力以上。F1にぐっと近づいたわけで、予選ではこれまでにないスピードでPP(ポール・ポジション)争いが展開されるのは確実。07年の最終戦で小暮卓史がマークした1分40秒510(平均時速207.99km)のコースレコードを誰が、どれだけ上回るのかが大きな見どころ。鈴鹿サーキットで初めて1分40秒の壁を破ったのは1989年のF1日本グランプリ。マクラーレン・ホンダの故A・セナが金曜日のフリー走行で1分39秒台に突入すると、翌日の公式予選で1分38秒041をたたき出したのだ。まさに新生フォーミュラ・ニッポンは過去F1しか経験したことのない未知のハイスピードワールドに突入する！！



昨年までのマシン(左)とニューマシン(下)



新・旧フォーミュラ・ニッポンマシン比較

	昨年までのマシン FN06	ニューマシン FN09
車両全長	4,667mm	4,775mm
車両最大幅	1,800mm	2,000mm
リアウイング幅	1,000mm	1,220mm
フロントウイング幅	1,450mm	1,800mm
車両重量	660kg	670kg
エンジン排気量	3,000cc	3,400cc
気筒数	V型8気筒	V型8気筒
エンジン出力	550馬力	600馬力以上
回転数制限	10,300回転	10,700回転

株式会社 モビリティランド 鈴鹿サーキット

〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992

TEL(059)378-1111 URL <http://www.suzukacircuit.jp/>

王者松田か？最速男小暮か？それとも驚異の新鋭達か！？ 新生鈴鹿初の栄冠を掴むのは誰だ！！



開幕戦でPPを奪った平手(左)と、開幕戦で2位に入った伊沢(右)。参戦2年目の若手コンビ



まだ開幕戦が終わったばかりだが、勢力図が書き換えられそうなほど、今年のフォーミュラ・ニッポンは大きな変動が起きている。まず開幕戦予選で初PPを奪ったのが参戦2年目の若手、平手晃平。これに続く2番手をゲットしたのが同じく2年目の伊沢拓也だった。決勝レースは3番手スタートのベテラン、B・トレルイエが制したものの、伊沢が自身初の表彰台となる2位。平手も3位に入った。さらには今年から参戦のルーキー塚越広大、大嶋和也が6位、7位に食い込む快走を見せた。

これに対して昨年、一昨年と2年連続チャンピオンに輝いた松田次生は予選8位、決勝は他車と接触してリタイア。フォーミュラ・ニッポン最速男の異名を取る小暮卓史も予選5位、決勝8位と精彩を欠いた。だが、今度はF1ドライバーでさえ手を焼くテクニカル

コースが舞台だ。しかもSRS-F(鈴鹿サーキットレーシングスクール フォーミュラ)出身の松田にとっては最も得意とするホームコース。なにしろこれまで12回獲得した予選PPの内、実に7回が鈴鹿で獲得したもの。小暮も自身初めてのPP(05年)、初優勝(04年)とも鈴鹿で飾ったほどの得意コース。当然松田と同様予選PP、そして優勝を狙ってくる。驚異のルーキー、若手達との対決が見ものとなった。



開幕戦で優勝したB・トレルイエ



2年連続チャンピオン松田次生



最速男の異名を取る小暮卓史



ルーキー 大嶋和也



ルーキー 塚越広大

ビカ・ビカ・ビカ！ドライバーの頭が点滅したら目を離すな！

豪快なパッシングシーンはもうすぐだ！



ロールオーバーに取り付けられたオーバーテイクランプは世界初のアイデアだ

新生フォーミュラ・ニッポンはよりF1に近いフォルム、600馬力オーバーのパワーが大きな見どころだが、もうひとつこれまでにない試みと言えるのが「オーバーテイクシステム」だ。ステアリングに取り付けられたオーバーテイクボタンを押すと、約20秒間に渡って10,300に制限されていたエンジン回転数が10,700回転まで上昇し、そのパワーで前車を追い抜こうというものだ。ボタンを押すとドライバーのヘルメットがビカビカと光るように見える。実際にはドライバー後方のロールバーに取り付けられたランプが点滅し、ファンにその時を知らせてくれるわけだ。このオーバーテイクシステムは1レースで5回までしか使えない。5つあるライトがひとつずつ減って行くため、あと何回使えるか一目瞭然。いつ、どこでボタンを押すのか！？その結果は…？ハラハラ、ドキドキが最後まで続く。それが新生フォーミュラ・ニッポンだ。

全日本F3選手権第5戦、第6戦。 FCJ(フォーミュラチャレンジ・ジャパン)第3戦、第4戦。一挙開催



F3



FCJ

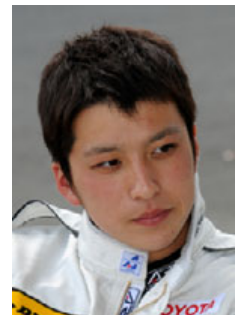
5月の鈴鹿サーキットはフォーミュラ祭り。フォーミュラ・ニッポンと同時に全日本F3選手権第5戦(16日決勝)、第6戦(17日決勝)が、F3を目指す精鋭たちが競うFCJ(フォーミュラチャレンジ・ジャパン)第3戦(16日決勝)、第4戦(17日決勝)が開催される。今季フォーミュラ・ニッポン参戦を決め、開幕戦で健闘した国本京佑は、2007年にFCJのチャンピオンを獲得すると翌年F3に参戦、3勝を記録しシリーズランキング2位に食い込むと、その後に行われたF3世界一決定戦、マカオGPで優勝を飾り、最短距離でフォーミュラ・ニッポンに上り詰めた。大嶋和也も07年の全日本F3チャンピオンからヨーロッパF3参戦を経てフォーミュラ・ニッポン参戦を手に入れている。F3は参戦2年目の井口卓人が開幕2連勝、FCJは佐々木大樹、蒲生尚弥が星を分け合った。はたして誰が国本、大嶋に続くのだろうか？若き精鋭たちの走りに注目してほしい。



F3 井口卓人



FCJ 佐々木大樹



FCJ 蒲生尚弥

フォーミュラ・ニッポン第2戦 鈴鹿サーキット 開催概要

- 大会名称：2009年 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン第2戦 鈴鹿サーキット
- 同日開催：2009年 全日本フォーミュラ3選手権 第5戦&第6戦
2009年 フォーミュラチャレンジ・ジャパン 第3戦&第4戦
ホンダ エキサイトングカップ ワンメイクレース 2009～ジビック・インターシリーズ～ 第3戦／～ジビック・西日本シリーズ～ 第3戦
- 主催：グループ オブ スピードスポーツ(GSS) / 鈴鹿モータースポーツクラブ(SMSC) / 株式会社 モビリティランド
- 公認：国際自動車連盟(FIA) / 社団法人 日本自動車連盟(JAF)
- 後援：東京中日スポーツ / 中日スポーツ / 中日新聞社

株式会社 モビリティランド 鈴鹿サーキット

〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992

TEL(059)378-1111 URL <http://www.suzukacircuit.jp/>

鈴鹿F1日本グランプリ再開記念イベント

今年、3年ぶりに開催される「鈴鹿F1日本グランプリ」。10月のF1日本グランプリを前に、再開記念イベントを開催いたします。



ブリヂストン浜島氏トークショー

F1にタイヤを供給するブリヂストンのMS・MCタイヤ開発本部長 浜島裕英氏が、今年の鈴鹿F1を語る！

■日時：5月17日(日)12:10～

■場所：鈴鹿サーキットグランドスタンド手前イベント広場
「GPスクエア」内特設ステージ

ヒストリックF1 デモンストレーション走行

■日時：5月17日(日)ピットウォーク時に開催(11:30～11:45予定)

■場所：鈴鹿サーキット国際レーシングコース 東コース

■走行マシン：1976年 ロータス77(マリオ・アンドレッティ車)※1976年 F1世界選手権イン・ジャパン 優勝車
1976年 マーチ761(ロニー・ピーターソン車)
1989年 ロータス101(中嶋悟車)
1989年 ロータス101(ネルソン・ピケ車)
1991年 レイトンハウス911(イワン・カペリ車)



ロータス77

写真提供：F1モデリング
撮影：原富治雄



ロータス101



マーチ761

写真提供：F1モデリング
撮影：原富治雄



レイトンハウス911

ヒストリックF1 写真撮影

デモンストレーション走行に参加したヒストリックF1マシンが、走行終了後ホームストレートに並べられ、写真撮影をしていただけます。

■日時：5月17日(日)ピットウォーク時(ヒストリックF1 デモンストレーション走行終了後)

■場所：ホームストレート上

ピットウォークにご参加の方のみ、ホームストレート上にご入場いただけます。

株式会社 モビリティランド 鈴鹿サーキット

〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992

TEL(059)378-1111 URL <http://www.suzukacircuit.jp/>

鈴鹿F1日本グランプリ再開記念イベント

鈴鹿サーキットコレクションホール ～鈴鹿を走ったマシンたち～

新生鈴鹿サーキットのピットビル2階ホスピタリティラウンジで、Honda Collection Hallに保存されている往年の2輪、4輪マシンの展示を行います。

ホスピタリティラウンジバス、ホスピタリティテラスバスをお持ちの方のみ、鈴鹿サーキットコレクションホールへご入場いただけます

■展示予定マシン

4輪マシン	2輪マシン
<ul style="list-style-type: none"> ● S800マーシャルカー ● YAMATO 02FX(1975年) ● ラルト ホンダ RH-6-81(1981年) ● ホンダシティーボⅡR(レース仕様車)(1983年) ● マクラレーン ホンダMP4/5B(1990年) ● マクラレーン ホンダMP4/6(1991年) ● ティレルホンダ020(1991年) ● JACCS CIVIC(1993年) ● ホンダNSX(レース仕様車)(1996年) ● ジョーダン Honda EJ12(2002年) 	<ul style="list-style-type: none"> ● ホンダRC145(1962年) ● ホンダCB125S(1970年) ● ホンダRCB1000(1977年) ● ホンダNR500(1981年) ● ホンダRVF750(1992年) ● ホンダNSR250(1993年) ● ホンダNSR500(1997年) ● Honda VTR1000SPW(2003年) ● Honda CB1300 SUPER FOUR(2004年)

■日時： 5月16日(土) 8:00～17:00
5月17日(日) 8:00～17:00

■場所：ピットビル2階 ホスピタリティラウンジ

※ホスピタリティラウンジバス、ホスピタリティテラスバスをお持ちの方のみご入場いただけます。



ティレルホンダ020(1991年)



JACCS CIVIC(1993年)



ホンダシティーボⅡR
(レース仕様車)(1983年)



ホンダNSR250(1993年)



ホンダRC145(1962年)



ホンダNR500(1981年)



ホンダRCB1000(1977年)



ホンダRVF750(1992年)

※写真提供「Honda Collection Hall」

株式会社 モビリティランド 鈴鹿サーキット

〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992

TEL(059)378-1111 URL <http://www.suzukacircuit.jp/>

イベント情報

フォーミュラ・ニッポン初開催！ キッズピットウォーク

ピットウォークは混雑して子供と一緒に心配という家族連れに朗報！ SUPER GTなどでおなじみのキッズピットウォークを、フォーミュラ・ニッポン初開催いたします。対象は中学生以下の子供と保護者で、キッズピットウォークへの参加は無料です。



写真はイメージです

お子様向けイベント

■日時：5月16日(土) 16:50～17:20

■場所：ピットロード



コチラレーシングinフォーミュラ・ニッポン
小学生のみんなはコチラレーシング
ファンクラブブースに集まれ！



FE-810搭乗体験の様子

■日時：5月16日,17日

■場所：グランプリスクエア

■会員特典：

- (1) FE-810搭乗体験
- (2) グリッドキッズ体験【先着13名】
- (3) こども記者体験【先着1名】※協力：AUTO SPORT

※(2),(3)は16日(土)ファンクラブブースにて先着受付となります。

※当日ファンクラブご入会でお名前と血液型の刺繍入りキャップ
or Tシャツとコチラレーシングフラッグをプレゼント!

※詳細はファンクラブブースでお問い合わせください。

『30の夢プロジェクト』とは・・・

鈴鹿サーキットのオリジナルキャラクター「コチラ」は、1979年に手塚治虫先生の手により誕生しました。今年、「コチラ」の生誕30周年。9月23日のコチラのお誕生日に向けて、様々なスペシャルイベントを開催いたします。

©Tezuka Productions

松阪牛「阪松」×LAWSON TEAM IMPUL

阪松「松田選手スペシャルランチボックス」

グランドスタンドエントランスの「松阪牛 阪松」で松田選手スペシャルランチボックスを販売！フォーミュラ・ニッポン第2戦のメニューはビーフカツレツだ！
スペシャルランチボックスで勝負に勝つ！

■価格：1,800円(選べるドリンク付き)

もれなく揚げたて松阪牛コロツケが！

GPスクエアのローソンブースでIMPUL2008ボトルを購入すると、もれなく鈴鹿サーキット名物「松阪牛コロツケ」の引換券が付いてくる！またローソンブースでは選手が愛用したグローブや阪松四日市店で使えるディナー券などが当たる抽選会も実施！！

ファミリーグリッドウォーク

パドック入場可能なパスをお持ちの小学生以下のお子様同伴の方を対象に、フォーミュラ・ニッポン第2戦決勝レース前のダミーグリッドに入場できるパスを限定販売致します。

■販売日：5月17日(日)

■販売枚数：大人先着100枚

■販売場所：GPLレセプション

■対象：パドック入場可能パスをお持ちの方で、小学生以下のお子様同伴の方限定
(お子様1名につき、大人2名までパス購入可能。)
(大人・子供ともに、パドック入場可能パスをご提示いただきます。)

大人(中学生以上)	子ども(小学生以下)
3,000円	無料

チケット好評販売中！

[価格はすべて税込]

魅力いっぱいのファミリー向けチケットはコレ!!

ファミ得チケット

■前売観戦券 ファミ得チケット V2・V1エリアセット
(2日通し券・エリア席は決勝日のみ有効)

大人2名＋ 子ども1名(3歳～高校生)	大人2名＋ 子ども2名(3歳～高校生)
16,000円	18,800円
ゆうえんちモトピアパスポート付 チララのフラワーワゴンにも乗れるよ！	

※セットされているパスポート(レース開催日いずれか1日有効)は「ゆうえんちのりもの乗り放題モトピアパスポート」となります。

MOBILITY STATIONだけの 特別キャンペーン！

MOBILITY STATION(オンラインショッピング
サイト)でファミ得チケットを買くと、コチラ
レーシングのぬいぐるみが手に入る！



©Tezuka Productions

チームサポーターズシート

スペシャル企画付きのチームサポーターズシートで、お気に入りのチームを応援しよう！

■チームサポーターズシート

(2日通し券。V2・V1エリア付。エリア席は決勝日のみ有効)

大人 (ゆうえんちモトピアパスポート付)	中・高校生
7,500円	ゆうえんち入園料(1,600円)

※MOBILITY STATION(オンラインショッピングサイト)からお申込みください。

※セットされているパスポート(レース開催日いずれか1日有効)は「ゆうえんちのりもの乗り放題モトピアパスポート」となります。

※小学生以下は、当日券をご利用の上、チームサポーターズシート観戦券をお持ちの中学生以上のお客様のご同伴にて、チームサポーターズシートでご観戦いただけます。(チームグッズのプレゼントなどの特典は、「MOBILITY STATION」チームサポーターズシート観戦券をご購入いただいたお客様のみを対象とさせていただきます。)

■特典1:ポディウム下エリアで表彰を祝福！

お申し込みの応援チームが上位3位となった場合は、表彰式でポディウム下の専用エリアへ入場できます。

※表彰式のスパークリングファイアがかかる場合もございます。あらかじめご了承ください。

■特典3:チームグッズをプレゼント！

お申し込みの応援チームからチームグッズをプレゼント！

※プレゼントのないチームもございます。また、グッズは予告なく変更となる場合もございます。

■特典2:表彰式プレゼンターとして参加！

お申し込みの応援チームが優勝した場合は1名様に表彰式プレゼンターとして参加いただけます。

※プレゼンター1名様は5/8(金)24:00までのお申し込み分より事前に抽選、ご本人にメールにて連絡させていただきます。

★チームドライバー・監督に激励を送ろう！

チームドライバー・監督の応援エリア訪問を予定しています。

※エリア指定席ですので区画はありません。エリアは一般のお客様もご利用になりますのであらかじめご了承ください。

※チームサポーターズシート参加チームなどの詳細は鈴鹿サーキットホームページをご覧ください。

[価格はすべて税込]

HOSPITALITY LOUNGE

新ピットビルディング2階に新設されたワンランク上の観戦空間 ホスピタリティラウンジ



※イラストはイメージです

新ピットビルディング2階に設けられたホスピタリティラウンジはハイグレードな観戦ルームに加えて、ピットレーンに張り出した屋外観戦席を設置。鈴鹿サーキットはおもてなしの心とともに、快適で迫りに満ちた観戦をご提供いたします。またより高い場所からコースを見渡せるピットビル3階のホスピタリティテラスへもご入りいただけます。

ホスピタリティラウンジ ＜大人向け＞ (2日間有効・観戦券込み)	ファミリーラウンジ ＜大人(中学生以上)＞ (2日間有効・観戦券込み)	ファミリーラウンジ Jr ＜子ども(3歳～小学生)＞ (2日間有効・観戦券込み)
30,000円	30,000円	8,000円

【ホスピタリティラウンジ特典】

- 駐車券(専用駐車エリア)
※ファミリーラウンジ Jrには付きません
- パドック入場可(2日間対象)
- ピットウォーク(2日間対象)
- ホスピタリティテラス(ピットビル3階)入場可
- 激感エリア入場
- V2・V1指定エリア入場
- スペシャルランチボックス(決勝日5/17(日)のみ)
- フリードリンク(ソフトドリンク・ビール)
- 大会公式プログラム
※ファミリーラウンジ Jrには付きません
- 専用プラスチックパス
※ファミリーラウンジ Jrには付きません

※MOBILITY STATION(オンラインショッピングサイト)からお申込みください。

受付期間:5月10日(日)24:00まで

※駐車券は1名様～4名様までのお申込1件につき1台分となります。(ファミリーラウンジ Jrには付きません)

※ホスピタリティラウンジは数に限りがございます。完売の際はご了承ください。

※お申込後のキャンセルは一切できません。

※屋外観戦席は自由席となります。

※ファミリーラウンジはご家族でご観戦いただける共有ラウンジです。

HOSPITALITY TERRACE

新ピットビルディング3階からの眺望と生の迫力を体感できる空間 ホスピタリティテラス

新ピットビルディング3階からご観戦いただけるホスピタリティテラスは、自然光を活かし、開放的な空間とするために壁を設置せずに、コースが見渡せる場所となります。またピットレーンに張り出した屋外観戦席もご用意しております。

ホスピタリティテラスは別途観戦券が必要です

ホスピタリティテラス (2日間有効・別途観戦券必要) ＜大人(中学生以上)＞	ホスピタリティテラス Jr (2日間有効・別途観戦券必要) ＜子ども(3歳～小学生)＞
14,000円	2,000円

※ホスピタリティテラスのご購入には観戦券が別途必要です。

※3歳以上有料となります。(特典内容は大人同様となります)

※ホスピタリティテラスは数に限りがございます。完売の際はご了承ください。

※お申し込み後のキャンセルは一切できません。



※イラストはイメージです

【ホスピタリティテラス特典】

- ピットウォーク(2日間対象)
- パドック入場可(2日間対象)
- V2・V1指定エリア入場
- 激感エリア入場
- 専用プラスチックパス
※ Jrには付きません



パドック、ホスピタリティラウンジにも入れる最高級の観戦環境を提供

VIPスイート・プレミアム

SUITE

グランドスタンド上部に位置し、東コースの大部分を見渡すことができるVIPスイート。VIPスイート・プレミアムはVIPスイート、VIPテラス、パドックをはじめ、新ピットビルディングのホスピタリティテラス(3階)、ホスピタリティラウンジ(2階)にもご入場いただけるプレミアムチケットです。

VIPスイート・プレミアム (2日間有効・観戦券込み・3歳以上共通料金)
32,000円

【VIPスイート・プレミアム特典】

- スペシャルランチボックス(決勝日5/17(日)のみ)
- フリードリンク(ソフトドリンク・ビール)
- 駐車券(専用駐車エリア)
- 大会公式プログラム
- ピットウォーク(2日間対象)
- グリッドウォーク(5/17 フォーミュラ・ニッポン決勝レース前のみ)
- VIPテラス入場可(2日間対象)
- パドック入場可(2日間対象)
- 激感エリア入場
- ホスピタリティラウンジ入場可(2日間対象)
- ホスピタリティテラス入場可(2日間対象)
- 記念品

※MOBILITY STATION(オンラインショッピングサイト)からお申込みください。

受付期間:5月10日(日)24:00まで

※3歳以上共通料金となります。(飲料・食事など特典内容は大人同様となります)

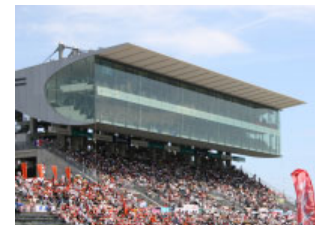
※駐車券は1名様~4名様までのお申込1件につき1台分となります。

※ホスピタリティラウンジでのお食事対応はいたしていません。

※VIPスイート・プレミアムは数に限りがございます。完売の際はご了承ください。

※お申込後のキャンセルは一切できません。

※VIPテラスの販売はいたしていません。VIPテラスはVIPスイートのお客様、車いす観戦指定席のお客様のご利用エリアとなりました。



ピットウォーク

レーシングマシンをもっと間近でみたい!マシンやキャンペーンギャルを撮影したい!お昼のインターバルに実施するピットウォークにぜひご参加ください。小学生以下のお子様は無料でご参加いただけます。

今年よりピットウォーク券はMOBILITY STATION(オンラインショッピングサイト)にて前売販売いたします

	大人(中学生以上)	子ども
5月16日(土)予選日	2,000円	無料
5月17日(日)決勝日	2,000円	

※ピットウォーク券のご購入には観戦券が別途必要です。

※MOBILITY STATION(オンラインショッピングサイト※PC・モバイルサイト)からお申込みください。

受付期間:5月10日(日)24:00まで

※前売ピットウォーク券は完売する場合があります。お早めにご購入ください。

前売ピットウォーク券が完売の場合は、当日ピットウォーク券の販売はございません。

※ピットウォーク時に、脚立のお持込はご遠慮ください。



※写真はイメージです

■前売観戦券(2日通し券)

[価格はすべて税込]

大人	ペア(大人2名)	中・高校生
ゆうえんちモトピアパスポート付		入場のみ
5,500円	10,000円	1,600円

■前売エリア付観戦券(2日通し券)

V2・V1エリア付観戦券 (エリア席は決勝日のみ有効)
ゆうえんちモトピアパスポート付
7,500円

■前売指定席券(決勝日のみ有効)

※別途観戦券が必要です

V2・V1エリア
2,500円

■当日観戦券

	大人	中・高校生
5月16日(土)予選日	ゆうえんち入園料(1,600円)	
5月17日(日)決勝日	6,500円	1,600円

■当日エリア券(決勝日のみ有効)

※別途観戦券が必要です

V2・V1エリア
3,000円

※3歳～高校生以下の方の当日券はゆうえんち入園料となります。中・高校生:1,600円/小学生:800円/3歳～未就学児:600円
 ※高校生以下の方はV2・V1エリアへ無料でご入場いただけます。
 ※観戦券(一部券種を除く)にセットされているパスポート(レース開催日いずれか1日有効)は「ゆうえんちのりもの乗り放題モトピアパスポート」となります。
 ※指定席券は決勝日のみ有効です。
 ※ペアチケットは前売のみの発売で、2名セットとなります。
 ※V2・V1エリア付観戦券は前売のみの発売となります。
 ※前売指定席券完売の場合、当日指定席券は販売致しません。お早めにお求めください。
 ※自由席、指定席の一部には、団体専用席、メーカーチーム応援席、シーズンシートがあらかじめ区画されている場合がありますので、ご了承ください。

■パドックバス(2日通し券) ※別途観戦券が必要です

パドックバス <大人(中学生以上)>	パドックバスJr <子ども(3歳～小学生)>
6,000円	1,500円

※パドックバスのご購入には観戦券が別途必要です。
 ※パドックバスをご購入いただいたお客様は激感エリアへのご入場、ピットウォークもお楽しみいただけます。
 ※パドックバスではピットビル2階、3階にはご入場いただけません。
 ※前売りパドックバス完売の場合、当日パドックバスは販売いたしません。

ご案内: 大人のお客様は、ゆうえんちモトピアパスポートでは、本レースをご観戦いただけません。

- レース決勝日のゆうえんちモトピアパスポートをお持ちの大人のお客様が、本レースご観戦をご希望の場合は、別途追加料金2,300円にてご観戦いただけます。
- 中・高校生のお客様は、ゆうえんち入園料のみで本レースをご観戦いただけます。

チケットのお求めは

券種によってお取り扱いのない窓口もございます

■鈴鹿サーキットレースチケットセンター	5月16日(土)まで(販売時間 10:00～17:00)
■鈴鹿サーキット電話通信販売 ☎059-378-1100(通販専用)	5月10日(日)まで(販売時間 10:00～16:00)
■MOBILITY STATION (オンラインショッピングサイト)	5月10日(日)24:00まで(24時間受付)
PC http://mls.mobilityland.co.jp/	モバイル http://mls.mobilityland.co.jp/mobile/

5月16日(土)まで販売(一部販売期間が異なる店舗がございます。)

- 電子チケットぴあ ●CNプレイガイド ●ローソンチケット ●イープラス
- セブン-イレブン ●ローソン ●ファミリーマート ●サークルK・サンクス ●am/pm

※コンビニには時間帯に制約があります。※販売店によって、一部取り扱いのない券種があります。

チケットに関するお問い合わせ：鈴鹿サーキットレースチケットセンター ☎059-378-1111(代)

株式会社 モビリティランド 鈴鹿サーキット

〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992

TEL(059)378-1111 URL <http://www.suzukacircuit.jp/>